

立川市教育だより



たっち

平成17年
(2005年) 12/10
年2回発行

第6号

編集・発行/立川市教育委員会

〒190-0022 立川市錦町3-2-26

☎042(523)2111(市役所代表)

◀立川市ホームページ▶

http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/

教育だよりの「たっち」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

地域との協力で創る教育

市民力と連携した学校

立川市では、「市民力と連携のまちづくり」を基本テーマに新しいまちづくりに取り組んでいます。市内の学校においては、立川市教育委員会の学校教育の指針「確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために」とも、地域の方々の参加・協力を得て、充実した教育を目指した活動をしている学校がたくさんあります。

今回は「市民力と連携した学校づくり」に努めている学校の実践例を紹介いたします。

1月開催の立川教育フォーラムでは、立川市立学校全校の実践を紹介いたしますので、ご期待ください。

確かな力を育む連携

九小では、保護者や地域の方々、学習支援者として授業に参加をして子どもたちを支援しています。担任の先生の指導の下、学習支援者の方々は、国語や算数の学習の際に、生活班や習熟度等の小グループに入って、学習の中での分からないことに答えるなど、一人一人に応じた指導をしています。子どもたちからは、「分からないことをすぐに聞くことができるし、答えのマル付けもすぐにしてもら



学習支援として授業に参加(九小)

えて嬉しい。「そばにいてもらえると集中して勉強ができる。」等、学力の定着や意欲の向上へとつながる声が開かれます。子どもたちにとっては、学ぶ楽しさとともに、地域の大人の方のかかわり方を学ぶ交流の場もなっています。

やさしい心を育む連携



「あいあいパトロール隊」のあいさつ運動(立川五中)

立川五中、九小、大山小、上砂川小からなる立川第五中学校学区では、昨年度から、子どもたちの健全育成や地域の安全を守るために、地域の方と学校が協力をして「あいあいパトロール隊」を発足させました。今では会員の方は700人を超えています。会員は、「あいあいパトロール」と書かれた腕章をつけ、買い物や通勤、犬の散歩等のときに、子どもたちに声をかけて挨拶を交わし、地域の安全に常に目を配っています。

学校では、子どもたちにあいさつ運動を指導しており、立川五中では、昨年パトロール隊と始めた毎朝のあいさつ運動を、現在でも教員と生徒で続けています。「あいあいパトロール隊」の活動は、子どもたちにとってよい手

個を輝かせ、社会のためにつながる連携

本となるとともに、子どもたちに地域の一員としての自覚を育て、よい地域交流ともなっています。この活動は、立川第七中学校学区にも発足したのをはじめ、取り組む地域が広がっています。

小学校で市内唯一の2学期制を実施している上砂川小には、4日間の秋休業日があります。この4日間を活用し、地域の方々に講師に招いて、チャレンジ講座を行っています。

本年度は3年目を迎え、学校や地域を講座会場にして、約40名の講師の方々と教員やPTAの協力のもと22講座を開催しました。○山下農園では、山下明さんから土を耕し、野菜の種蒔きや収穫等について教えていただきました。子どもたちは、目を輝かせながら農業体験をしました。



チャレンジ講座の「農業体験」(上砂川小)

○家庭科室では、荒井安広さんからおいしい手打ちそば作りを教わりました。「名人」の指導で、形はまちまちでも味わい深い手打ちそばが出来上がりました。子どもたちは自作のそばを食べて、おいしいとても喜んでいました。



チャレンジ講座の「手打ちそばづくり」(上砂川小)

★チャレンジ講座には4日間延べ1350人の子どもたちが参加しました。

中村宗男校長は「子どもは、人の思いや目を浴びることなくして大人にはなれない。」と語り、地域の方の温かい思いと実践に感謝をしていました。地域の方には毎年のチャレンジ講座を楽しみにしていると話してくださる方もおり、地域とのよい交流が、子どもたちのよき育みにつながっています。

夏休みを活用した連携

十小では、地域の方々の協力を得て、サマースクールを開いています。30講座に、大人と子ども合わせて1371名の参加がありました。

本年度は、「パソコン」や「運動」の講座、「工作」の講座、「食べ物」の講座、「出かける」及び「琴」、「囲碁」の講座の中からそれぞれ一つを選んで、様々な体験に取り組みました。夏休みを有意義に過ごすだけでなく、日頃の学校では体験できなかった



サマースクールの「食べ物」の講座(十小)

い学習に大人とともに取り組む子どもたちの姿はとても真剣でした。詳細は学校にお問い合わせ下さい。

第2回立川教育フォーラム 開催のお知らせ



昨年のポスターセッションの様子

立川市教育委員会では市立の小・中学校の学校教育の様子を紹介し、市民の皆様へ教育への理解と関心を高めていただくために、平成18年1月18日(水)午後1時より市民会館大ホールで「第2回立川教育フォーラム」を開催します。

当日は、学校教育の指針「確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために」とも、「市民力と連携した学校づくり」をテーマに全校の活動紹介をパネルにて掲示します(ポスターセッション)。また、代表校の教育活動例を発表するとともに、学識経験者、市民保護者の方等によるパネルディスカッションを行います。

ご参加の方には全小・中学校の教育実践を紹介する資料を配付いたします。

小・中学校のPTA、市民と教職員が共に学び、子どもの教育について共に考えるよい機会としますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。(参加無料)

指導課(内線421)

開催日	会場	対象校
1月20日(金)	西砂小	西砂小
1月27日(金)	大山小	大山小
2月3日(金)	八小	八小
2月10日(金)	五小	五小
2月16日(木)	三小	三小
2月17日(金)	若葉小	若葉小
2月21日(火)	幸小	幸小
12月12日(月)	九中	九中
12月13日(火)	四小	四小
12月14日(水)	二小	二小
12月16日(金)	七中	七中
12月19日(月)	四小	四小
2月8日(水)	四小	四小
2月13日(月)	七中	七中
2月16日(木)	四小	四小
2月17日(金)	七中	七中
2月23日(金)	二小	二小
3月2日(水)	七小	七小
3月3日(木)	七小	七小
3月4日(金)	七小	七小
3月10日(金)	八中	八中
3月16日(金)	九中	九中
3月22日(水)	八中	八中
3月23日(木)	八中	八中
3月29日(日)	八中	八中
3月30日(月)	八中	八中
3月31日(火)	八中	八中
12月16日(金)	九中	九中
12月17日(土)	九中	九中
12月18日(日)	九中	九中
12月19日(月)	九中	九中
12月20日(火)	九中	九中
12月21日(水)	九中	九中
12月22日(木)	九中	九中
12月23日(金)	九中	九中
12月24日(土)	九中	九中
12月25日(日)	九中	九中
12月26日(月)	九中	九中
12月27日(火)	九中	九中
12月28日(水)	九中	九中
12月29日(木)	九中	九中
12月30日(金)	九中	九中
12月31日(土)	九中	九中

※右記の外、市民会館で2月1日に小学校教育研究会発表会(図工、家庭、体育、教育相談)も公開。

第25回 立川市中学生の主張大会

集え夢たち! 未来へつづくメッセージ



「第25回中学生の主張大会」が11月6日(日)アミューたちかわで行われました。市内12地区の青少年健全育成地区委員会及び一般公募により作品を募集したところ、290編の応募があり、この中から選ばれた15人が、学校や地域・友人・家族との関わりの中で感じたことや、社会を見て考えたことなどを発表しました。

市長賞には立川七中2年生の野村達也さんの作品「今、学んでいること」が選ばれました。この作品は父親との心温まるふれあいを書いたもので、発表を

聞いた来場者も気持ち温かくなるものでした。各入賞者は一覧表の通りです。今大会も様々なテーマの作品があり、主張発表も身振り手振りを交えて訴えかける中学生の姿に、来場者も引き込まれ、聞き入っていました。

また、アトラクションでは立川九中の吹奏楽部のみなさんの楽しい演奏が披露され、こちらも大きな拍手を頂きました。主張発表・吹奏楽演奏ともに素晴らしい一日でした。

●受賞者一覧● (敬称略)

各賞	主 題	氏 名	学校名・学年	地区名
市長賞	今、学んでいること	野村 達也	第七中学校2年	西砂川
議長賞	お互いに工夫してやっつけよう	深澤 溪	第四中学校1年	柏 町
	前向きに生きる	田口 優花	第五中学校3年	砂 川
教育委員長賞	小さな一歩	木村 美香	第三中学校3年	羽衣町
特別賞	戦後六十年を迎えて	来司 信博	創価中学校2年	西砂川
	自分への挑戦状	河田 遥	第六中学校3年	幸 町
青少年問題協議会会長賞	私がお客様でなくなった日	金 明琴	第一中学校3年	柴崎町
	終戦、60年	宮田英里奈	第二中学校3年	高松町
	つぼみ	栗野 祐衣	第四中学校1年	幸 町
	「食育」について	佐藤 友里	第四中学校2年	柏 町
	「ありがとう」を伝えたい	佐々木里菜	第四中学校3年	幸 町
	あいさつ運動を通して	小山内有沙	第五中学校3年	砂 川
	地域でのボランティア活動	岩村 拓哉	第六中学校3年	栄 町
	未来への道筋	吉野亜莉沙	第七中学校3年	西砂川
障害者への支援	水越 綾香	第八中学校3年	富士見町	

宝への助成金により整備したポップコーン機などの備品を自治会等の団体に貸し出しています。ご利用下さい。

図書館探検 ⑤ 児童サービスとは

「ぼくたちに本をください、翼をください。あなた方は力があつて強いのですから、ぼくたちがもつと遠くまで飛んでいけるように、ぼくたちを助けてください。」(「本・こども・大人」ポール・アザール著より)

この文は、立川市図書館児童資料収集方針の冒頭に掲げられているものです。

「図書館で、児童サービス?」と思われる方も多くはないでしょうか。すべての子どもたちに本の楽しさ、読書の喜びを知ってもらい、本との出会いの場となるよう行っているのが児童サービスです。

そのひとつは本を選ぶということ。絵本だけでなく毎年約千冊以上出版される中から、子どもたちに出会ってほしい本を、実際に見て選んでいます。

また、子どもたちに何十年も読み継がれてきた本を中心に、

蔵書の核となる「基本図書」の選定を行っています。子どもたちにとって絵や文字で描かれた世界を読み取り、イメージし、心から楽しめるようになることは決して容易ではありません。その手助けをし、本の世界に親しんでもらうために、本物の価値を持つ本の選定を続けています。すでに0・1・2歳児編、ものがたり絵本編、えどうわ編の「基本図書リスト」は図書館にあり、本選びの際にご利用ください。

その他にも図書館では独自の児童書分類を使用し、子どもたちに分かりやすいように本を並べています。

また学校・地域文庫などへの団体貸出しやおはなし会なども行っています。おはなし会は、わらべ歌や手遊びも行う2・4歳向け、絵本の読み聞かせやストーリーテリング中心の4歳・小学校低学年向け、夏休みには高学年を対象として開催しています。詳しくは各図書館にお問い合わせください。

問中央図書館(528) 6800

「学校給食用調理機器」のメンテナンス対策

学校給食課は、共同調理場2場及び単独調理方式校(一小・八小)における給食用調理機器に関するアスベスト対策は、11月末までに全て完了しました。

今回のアスベスト問題で対象となった、ガス回転釜や焼き物機など、全ての調理機器について買い替え設置を行い、万全の安全対策を図りました。

また、対象機器が設置されていた共同調理場及び学校については、9月中旬に室内空気のアスベスト含有量調査を実施し、現在までに全ての場所についての安全が確認されています。

今回のアスベスト問題の対応では、一部の学校で給食を停止せざるを得ないような緊急措置を講じる状況となり、児童、保護者並びに市民の皆様にはご迷惑とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今後とも、立川市教育委員会

防犯ブザーの携帯を促す

市では、毎年小学校の新1年生を対象に防犯ブザーを貸与しています。

登下校時に子どもを狙った連れ去り事件等が、新聞等の報道により、各地で多発している現状があります。

貸与を受けた児童が防犯ブザーを携帯することで、万一の時に、助けを求められますので、登下校時のみならず、外出時には必ず防犯ブザーを携帯するよう指導をお願いします。

また、立川市以外の小学校へ通学している児童で、まだ防犯ブザーの貸与を受けていない人は、学務課に申し込みください。

問学務課・内線337

学校校舎の耐震補強工事が始まり

平成16年5月に策定した学校校舎耐震化推進計画に基づき、小・中学校の校舎の耐震補強工事が始まりました。

今年度は、四小・六小(単年度)、八小・立川五中(2カ年度)の補強工事を行っています。

工事は夏休みを中心に行っていますが、一部は授業に影響のない範囲で工事を行っています。

今後の耐震補強工事は、18年度に、二小・七小・松中小(単年度)、けやき台小・立川二中(2カ年度)で、また、八小・立川五中は2期工事を何れも夏休みに重点的に行う予定です。

問教育部総務課・内線334

祝 教育委員会表彰授与

立川市教育委員会表彰規程に基づき、以下のとおり表彰を行いました。(敬称略・順不同)

山口末男(国分寺市) 第10回世界マスターズ水泳選手権大会50mバタフライ第2位他

野孝子(一番町) 第21回全日本シニアバドミントン選手権大会65歳以上ダブルス(女子) 第3位

菅家克彦(柏町) 立川市学校給食運営審議会委員(8期16年)

福本明奈(立川五中2年) 第36回全国中学校新体操選手権大会個人競技総合第16位

第29回関東中学校水泳競技大会

齋藤茂和(立川七中2年) 男子200m平泳ぎ優勝他

鎌田香織(立川八中3年) 女子800m自由形第2位他

問教育部総務課・内線332

立川の歴史と文化財 ⑥ 中世立川氏と立川氏文書

立川氏は武蔵七党の西党日奉氏を祖とする武士で、古代末期頃から多摩川中流域に所領を展開し、鎌倉幕府の御家人となっていたことが知られている。

平成一二年四月、立川氏に関する古文書(立川氏文書)が立川氏の子孫の方から、立川市へと寄贈され、立川の中世史を探るうえでたいへん貴重な史料となった。(立川市指定有形文化財)

立川氏文書は全部で一三三あり、このうち原本と考えられる文書が八点、後世に書写された写本が五十二点ある。文書の年代は一点が室町時代の文書である他はすべて鎌倉時代の文書である。

一三三のうち七点が関東下知状とよばれる形式の文書で、立川



彦四郎重清という人物とその妻子が所領を売買あるいは交換したことについて、鎌倉幕府が認めているものである。残りの六も二点の断簡を除いてすべて所領の譲渡、安堵に関する文書であり、このことから立川氏の所領に関する証拠書類として代々伝えられてきたと考えることができる。

文書に登場する地名や人名は、まだすべてが解明されておらず、今後の課題であるが、立川市のみならず多摩地域の中世史研究に限りない材料を提供している。

春一番! 第25回立川・昭島マラソン

国営昭和記念公園をメイン会場に行われてきた恒例の立川マラソン大会。今年からは昭島市も主催団体に加わって、名称も「立川・昭島マラソン」に。ハーフコースも両市を走る公園外周コースに変わります。春一番にさわられて、あなたも一緒に走ってみませんか。

開催日 平成18年3月12日(日)

種目 ハーフマラソン・10キロ・3キロ・ファミリー駅伝

申し込み受付場所・締め切り 新屋堂スポーツ立川店(立川駅北口フロム中武6階)・昭島店(昭島駅前モリタウン2階) 平成18年1月10日締切り

*ファミリー駅伝は往復はがきによる申し込みとなります。

募集要綱の配布 市役所、泉・柴崎両市民体育館で配布。資格・参加費等の詳細は募集要綱をご覧ください。

問体育課(536) 6711

問生涯学習課・内線5800

